

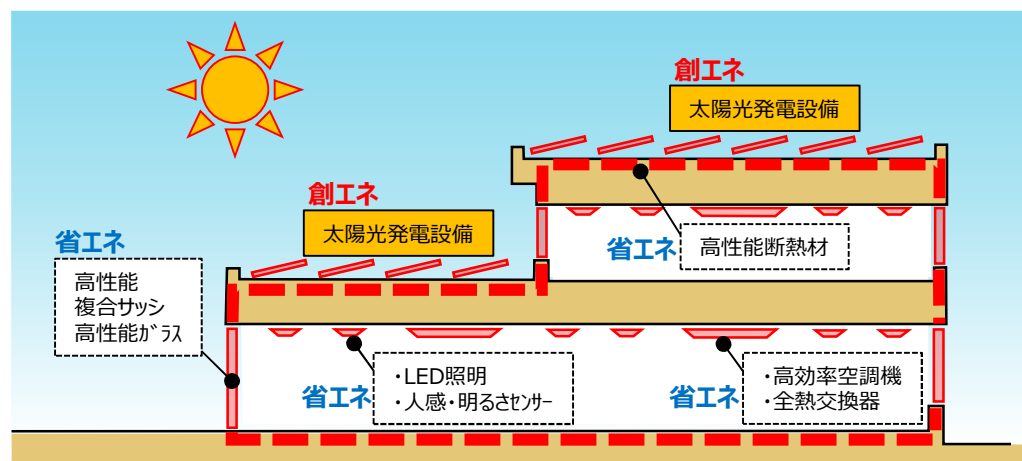
7.2 ZEB実現に向けた先進的省エネルギー建築物実証事業

① 地域特性を考慮した銀行支店の『ZEB』

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社八十二銀行		
	業種	金融業、保険業		
事業所	所在地	長野県	建物用途	事務所等
	総延床面積	960m ²	ZEBランク	『ZEB』
	主な構造	S造	一次エネルギー削減率 (創エネ含む、その他含まず)	101%
補助金額	補助金額	約3,500万円		
	補助率	2/3		
主な導入設備	従前設備	-		
	導入設備	断熱、空調、換気、照明、昇降機、太陽光発電、BEMS		
事業期間	稼働日	2021年10月		
区分		新築		
特長		旧店舗の老朽化に伴い、ZEB店舗化を検討。地域の晴天率が高く、冷涼な気候である特徴を活かして太陽光発電を活用して『ZEB』を達成した。		

システム図



写真



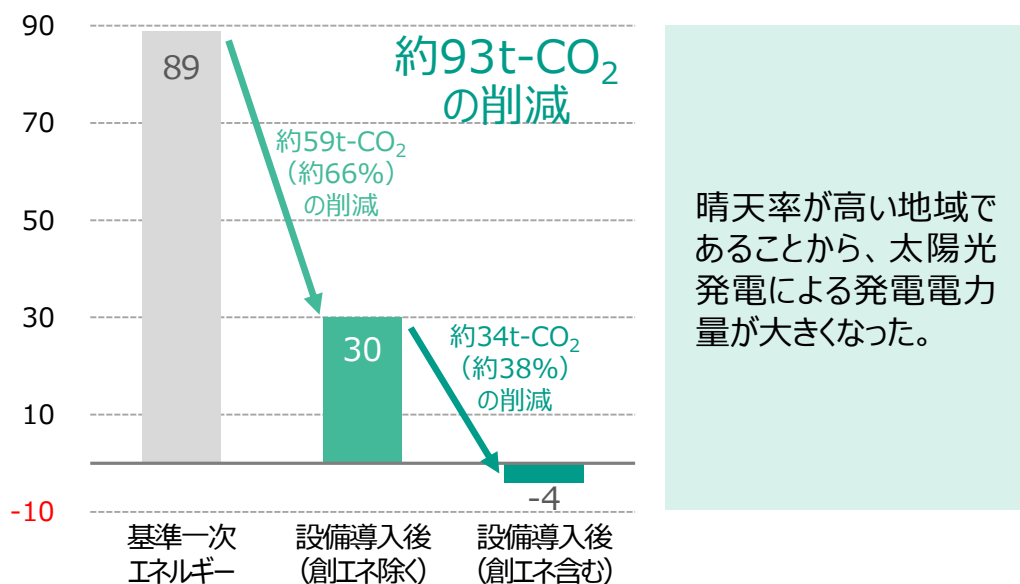
①地域特性を考慮した銀行支店の『ZEB』

事業の効果

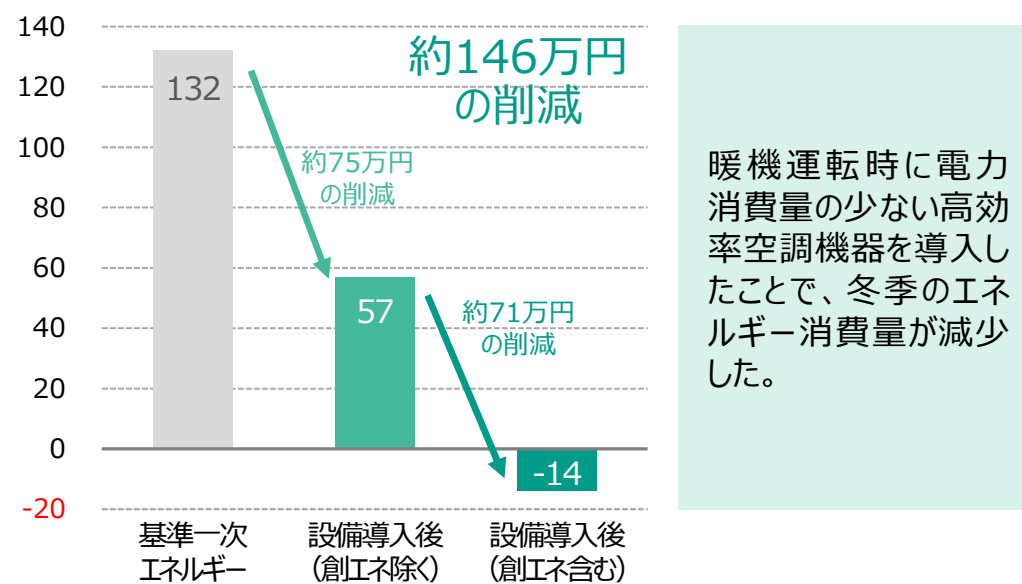
エネルギーコスト削減額*1	約146万円/年	
投資回収年数	補助あり	-
	補助なし	-

CO ₂ 削減量	93t-CO ₂ /年
CO ₂ 削減コスト*2	約38,780円/t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂/年)



エネルギーコスト (万円/年)



【脚注】
 *1 エネルギーコスト削減額：標準的な設備を導入した場合と比較した省エネ効果（電気代及びガス代の削減額）。
 *2 CO₂削減コスト：「補助額÷（CO₂削減効果×耐用年数）」によって算出。

① 地域特性を考慮した銀行支店の『ZEB』

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 地域特性を考慮した『ZEB』の挑戦：

岩村田支店の老朽化に伴う建替えにあたり、脱炭素社会の実現を見据えZEB店舗としての建替えを行った。当該地域は晴天率が高く、冷涼な気候である特徴を有することから、太陽光発電による発電電力量が期待できるため、『ZEB』にチャレンジした。

また、寒冷地であることから、省エネ化の工夫として、暖機運転時の電力消費が少ない高効率の空調設備を導入した。

■ 新店舗でのZEB化の推進：

八十二銀行として初となるZEB店舗であったが、本補助事業を契機に、新店舗についてはZEB化を検討することを方針として掲げている。

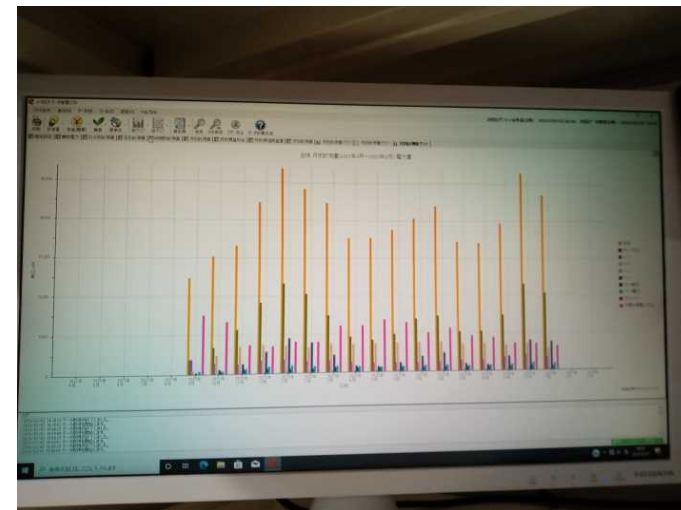
本補助事業後、3店舗において補助事業を活用せずにZEB店舗への建替えを実施。地中熱を利用した冷暖房を導入した店舗もあり、新たな試みも取り入れながら脱炭素の取組みを推進している。



太陽光発電設備



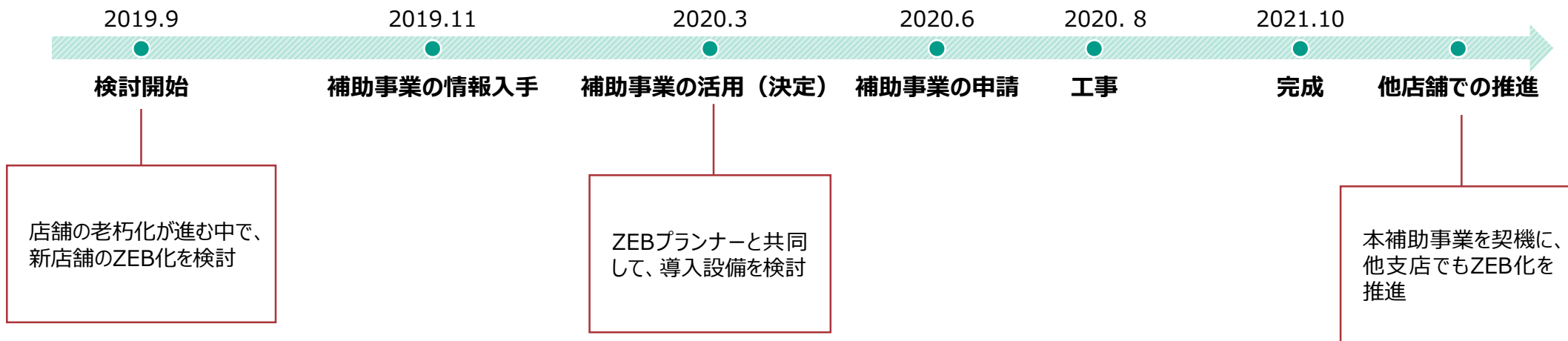
空調設備



BEMS画面

①地域特性を考慮した銀行支店の『ZEB』

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



小林 弘幸

株式会社八十二銀行総務部管財グループ

- 当行は、営業基盤である長野県の豊かな自然を持続させるため、様々な環境保全活動に取り組んでまいりました。
- 今回、環境保全活動の一環であるCO₂削減を更に進めるべく、店舗のZEB化にチャレンジしました。
- ZEB化については、お客様や他の金融機関の関心が高く、反響が大きいと感じています。
- 当行のCO₂削減目標である「2023年度にネット・ゼロ」「2030年度に13年度比60%削減」の達成に向け、引き続き様々な施策にチャレンジし、地域の脱炭素化に貢献してまいります。